

臨床研究「アセトアミノフェンの静注が術後悪心・嘔吐に与える影響」について

筑波大学附属病院麻酔科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

術後悪心・嘔吐は麻酔の合併症のなかでも最も頻度の高いものの一つです。鎮痛薬のアセトアミノフェンがその作用機序から、鎮痛以外にも嘔気・嘔吐を抑制する可能性があります。本研究ではアセトアミノフェンが術後の嘔気・嘔吐に与える影響を調べることを目的としています。

② 研究対象者

2008年4月1日から2020年3月31日までに当院の整形外科で脊椎の手術麻酔を受けられた方

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2021年3月31日まで

④ 研究の方法

電子麻酔記録 ORSYS の麻酔記録情報および電子カルテの情報をうい、術後 24 時間以内の悪心・嘔吐の頻度、術中・術後に使用した薬剤とその量、性別、年齢、身長・体重、術式、手術時間、麻酔時間、麻酔方法、出血量、輸液量、喫煙の有無を調べます。具体的な数値のみで個人を直接特定できる情報の提供はありません。

⑤ データ管理責任者名

筑波大学附属病院 山本 純偉

⑥ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学附属病院 山本 純偉

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：麻酔科 担当山本 純偉

電話・FAX 029-853-3092（平日9～17時）